

## 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

「パインブリッジ先進国金融機関ハイブリッド証券ファンド 2015-04」は、信託約款に基づき、2018年12月25日をもちまして償還を迎えました。当ファンドは先進国の金融機関が発行しているハイブリッド証券を主要投資対象とし、相対的に高水準かつ安定的な利子・配当等収益（インカム収入）の獲得を図りつつ、中長期的に信託財産の着実な成長を目指しました。また、外貨建て資産については、原則として為替のフルヘッジを行いました。ここに、運用状況および償還内容をご報告申し上げます。

長い間ご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

## 当作成期の状況

償還価額（当作成期末）	9,918円27銭
純資産総額（当作成期末）	1,080百万円
騰落率（当作成期）	△0.9%
分配金合計（当作成期）	5円

(注) 騰落率は収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算しています。

当ファンドは、信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記<お問い合わせ先>ホームページの「ファンド一覧」の「償還ファンド一覧」から当ファンドのファンド名称を選択することにより、当ファンドのページにおいて運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。運用報告書（全体版）をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

# 交付運用報告書 満期償還

## パインブリッジ 先進国金融機関 ハイブリッド証券 ファンド 2015-04 <愛称：ワールド・スター 15-04>

単位型投信／内外／その他資産  
(ハイブリッド証券)

第8作成期

(2018年8月21日～2018年12月25日)

第14期（決算日：2018年11月20日）

第15期（償還日：2018年12月25日）



パインブリッジ・インベストメンツ株式会社  
〒100-6813 東京都千代田区大手町一丁目3番1号 J Aビル

お問い合わせ先・・・投資信託担当

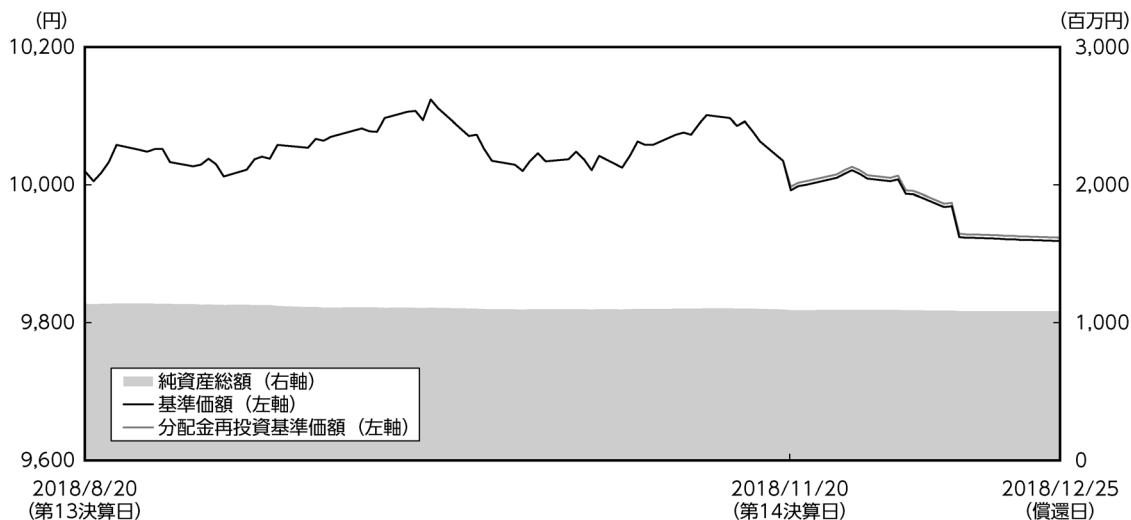
電話番号／03-5208-5858

(受付時間／9：00～17：00（土、日、祝休日を除く）)

ホームページ／<https://www.pinebridge.co.jp/>

## 運用経過 (2018年8月21日～2018年12月25日)

### 基準価額等の推移



第14期首：10,018円  
 償還日：9,918円27銭  
 (作成対象期間中の既払分配金：5円)  
 騰落率：△0.9% (分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首の基準価額をもとに指数化しています。

※当ファンドは単位型投信ですので実際には分配金を再投資することはできません。また、課税条件等を考慮しておりませんので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

### 基準価額の主な変動要因

当ファンド保有のハイブリッド証券のインカム収入を得られたことがプラス要因となったものの、保有ハイブリッド証券の価格が下落したことに加え、為替市場において、円に対して米国ドルが下落したことが主なマイナス要因となり基準価額は下落しました。当ファンド保有のアリアンツ発行のハイブリッド証券について繰上償還見送りが決定したため償還時期に併せて時価売却を行いました。繰上償還見送りの可能性をある程度織り込んでいたことから基準価額への影響は限定的でした。また、既に繰上償還見送りが決定していたドイツ銀行、コメルツ銀行、RBS発行のハイブリッド証券についても時価売却を行いました。基準価額への影響は限定的でした。

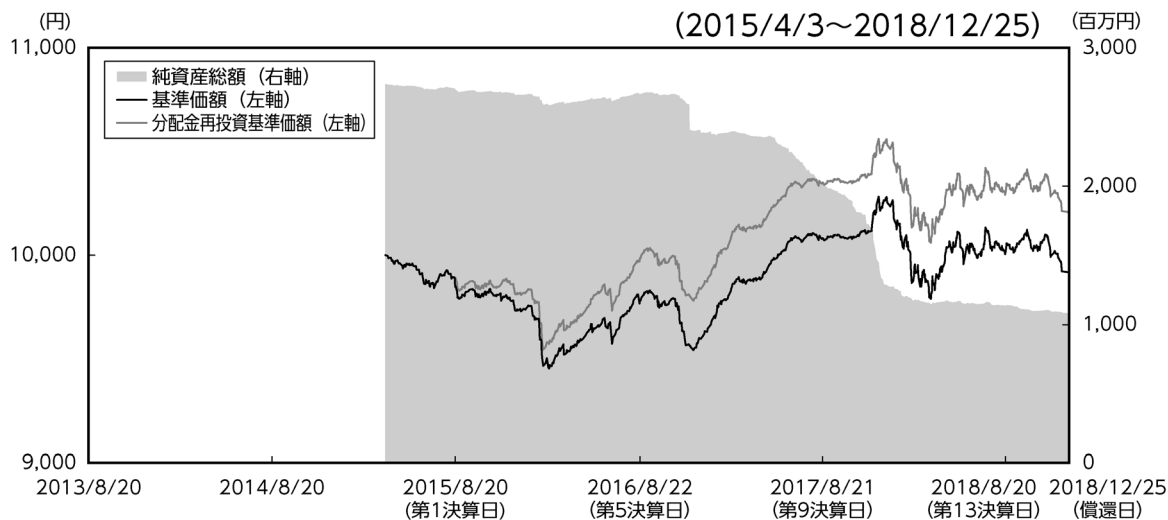
1万口当たりの費用明細

項 目	第14期～第15期 (2018.8.21～2018.12.25)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信託報酬	50円	0.500%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,050円です。
(投信会社)	(25)	(0.244)	委託した資金の運用、交付運用報告書等の作成、ファンドの監査等の対価 交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(25)	(0.244)	
(受託会社)	(1)	(0.011)	
売買委託手数料 (ハイブリッド証券)	0 (0)	0.003 (0.003)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税 (ハイブリッド証券)	0 (0)	0.000 (0.000)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用 (保管費用)	1 (1)	0.005 (0.005)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転に要する費用
合 計	51円	0.508%	

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。また、各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

※比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## 最近5年間の基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※当ファンドは単位型投信ですので実際には分配金を再投資することはできません。また、課税条件等を考慮しておりませんので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

※当ファンドは、適切に比較できる指数がないため、ベンチマーク等はありません。

※当ファンドは、設定日から5年間経っていませんので、設定来の推移を表示しています。

		2015/8/20 決算日	2016/8/22 決算日	2017/8/21 決算日	2018/8/20 決算日	2018/12/25 償還日
基準価額	(円)	9,848	9,767	10,078	10,018	9,918.27
期間分配金合計（税込み）	(円)	40	160	55	20	5
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	△1.1	0.8	3.8	△0.4	△0.9
純資産総額	(百万円)	2,695	2,661	2,023	1,134	1,080

※2015/8/20決算日の騰落率は、設定日との比較を表示しています。

※2018/12/25償還日の騰落率は、2018/8/20との比較を表示しています。

### 投資環境について

当作成期のハイブリッド証券市場は、作成期首から11月上旬までは、米国をはじめ先進国全般の長期金利が上昇基調で推移するなか下落しました。さらに11月末にかけても世界的な景気減速の高まりや原油価格急落などを受けた市場のリスク回避的な動きのなか信用スプレッド（国債への上乗せ金利）の拡大が嫌気されましたが、作成期末にかけては米中首脳会談の結果を受けた米中関係の緊張緩和期待や米国の利上げペースの減速観測などを背景に下落幅を縮小させました。為替市場では、円に対して米国ドルやユーロ、英国ポンドなどが軒並み下落しました。前半は米国をはじめ先進国全般の長期金利が上昇基調で推移するなか、日本との金利差拡大を受け円が主要通貨に対して下落しました。その後は、好悪材料入り混じるなかレンジ内での推移となりましたが、作成期末にかけては、米国の利上げペース減速懸念に伴う長期金利の低下や軟調な株式市場動向を受けたリスク回避姿勢の強まりなどから円が主要通貨に対して急騰しました。

### ポートフォリオについて

当ファンドの運用方針に基づき運用を行いました。  
2018年12月25日の当ファンドの償還に向けてポートフォリオの現金化を図りました。

### ベンチマークとの差異について

当ファンドは、ベンチマーク等はありません。

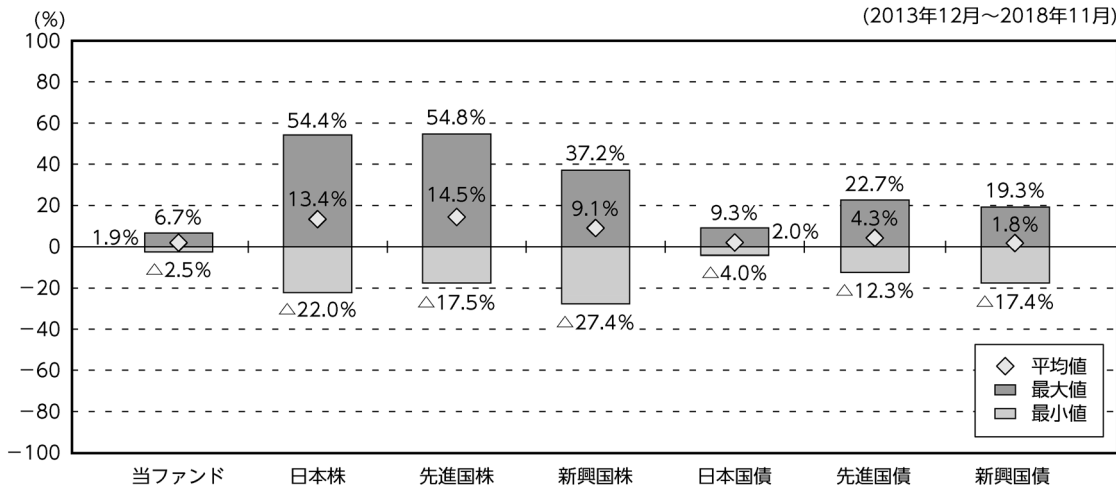
### 分配金について

当作成期の収益分配金につきましては、基準価額水準と市況動向を勘案して第14期5円（元本1万円当たり課税前）とさせていただきます。なお、分配に充てなかった収益につきましては、信託財産中に留保し、元本部分と同一の運用を行うことといたします。

## 当ファンドの概要

商品分類	単位型投信／内外／その他資産（ハイブリッド証券）
信託期間	2015年4月3日から2018年12月25日まで
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先進国の金融機関が発行しているハイブリッド証券を主要投資対象とし、相対的に高水準かつ安定的な利子・配当等収益（インカム収入）の獲得を図りつつ、中長期的に信託財産の着実な成長を目指します。</li> <li>・原則として、投資するハイブリッド証券は、当ファンドの償還日前にコール（繰上）償還や定時償還が設けられている銘柄とします。</li> <li>・外貨建て資産については、為替変動リスクを回避するため、原則として為替のフルヘッジを行います。ただし、米国ドル、ユーロ、英国ポンドのLIBOR 3ヵ月が、対日本円LIBOR3ヵ月で1.5%以上となった場合、実務上可能な限り速やかに、当該通貨の為替ヘッジをそれぞれ解除します。</li> <li>・2018年3月30日以降に、基準価額（支払済の収益分配金を含みません。）が11,000円以上となった場合には、保有しているハイブリッド証券を売却し安定運用に切り替え、速やかに繰上償還を行います。</li> <li>・実際の運用にあたっては、パインブリッジ・インベストメンツ・エルエルシー（PineBridge Investments LLC）に外貨建て資産の運用に関する権限を委託します。</li> </ul>
主要投資対象	先進国の金融機関が発行しているハイブリッド証券を主要投資対象とします。
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式への投資割合には、制限を設けません。</li> <li>・外貨建て資産への投資割合には、制限を設けません。</li> </ul>
分配方針	毎年2、5、8、11月の各20日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

## <参考情報> 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※上記グラフは、2013年12月~2018年11月の5年間ににおける1年騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。なお、当ファンドは2015年4月3日設定のため、2016年4月から2018年11月までの平均値・最大値・最小値を表示しています。

※上記の騰落率は直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

### ●各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数 (TOPIX) 配当込み

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス (配当込み・円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み・円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (ヘッジなし・円ベース)

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

東証株価指数 (TOPIX) 配当込みは、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、株式会社東京証券取引所が有しています。

MSCIコクサイ・インデックス (配当込み・円ベース) およびMSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み・円ベース) は、MSCI Inc.が開発した指数で、同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

NOMURA-BPI国債は、野村証券株式会社が作成している指数で、同指数に関する知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属しています。また、野村証券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより算出および公表されている債券指数であり、同指数に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (ヘッジなし・円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出・公表する指数で、同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

## ファンドデータ

### 当ファンドの組入資産の内容 (2018年12月25日現在)

償還日現在における有価証券等の組入れはありません。

### 純資産等

項 目	第14期末	第15期末
	2018年11月20日	2018年12月25日
純資産総額	1,089,036,186円	1,080,952,947円
受益権総口数	1,089,860,132口	1,089,860,132口
1万口当たり基準価額	9,992円	—
1万口当たり償還価額	—	9,918円27銭

※当作成期間 (第14～第15期) 中における解約元本額は43,096,045円です。